

収入支出予算の概要

令和2年度より下水道事業会計予算は、経営の更なる健全化に向け、経営状況をよりの確に把握するとともに、経理事務全般の見直しによる「経営の見える化」を図り、経営基盤の強化と財政マネジメントの向上につなげるため、公営企業会計方式を適用します。

官公庁会計では、全ての収入支出を歳入歳出としていましたが、公営企業会計では、これまでの公共下水道運営事務事業や公共下水道維持管理事業など管理運営に係る収益的収支と、公共下水道整備事業など建設改良費等に係る資本的収支に区分します。

収益的収支には、資産の取得に要した金額を基準により各事業年度の費用として配分する減価償却費や、資産の減価償却費に含まれる補助金等相当額を収益化する長期前受金戻入が新たに生じ、その収入と支出は共に922,927千円で、資本的収支の収入は1,340,849千円、支出は1,622,809千円となっています。

なお、収益的収入は、下水道使用料や他会計補助金、長期前受金戻入等で、収益的支出は、管渠費や減価償却費、支払利息及び企業債取扱諸費等となっています。

また、資本的収入は、企業債や他会計出資金、国庫補助金等で、資本的支出は、管渠建設改良費や流域下水道建設負担金、企業債償還金となっています。

収入支出予算 前年度対比表

収益の収支

(収入)

(単位:千円 %)

款・項別	令和2年度		令和元年度		比較増減	対前年度 伸 率
	予算額	構成比	予算額	構成比		
1. 下水道事業収益	922,927	100.0	—	—	—	—
1. 営業収益	398,101	43.1	—	—	—	—
2. 営業外収益	524,826	56.9	—	—	—	—

(支出)

(単位:千円 %)

款・項別	令和2年度		令和元年度		比較増減	対前年度 伸 率
	予算額	構成比	予算額	構成比		
1. 下水道事業費用	922,927	100.0	—	—	—	—
1. 営業費用	752,490	81.6	—	—	—	—
2. 営業外費用	148,791	16.1	—	—	—	—
3. 特別損失	19,646	2.1	—	—	—	—
4. 予備費	2,000	0.2	—	—	—	—

資本の収支

(収入)

(単位:千円 %)

款・項別	令和2年度		令和元年度		比較増減	対前年度 伸 率
	予算額	構成比	予算額	構成比		
31. 資本の収入	1,340,849	100.0	—	—	—	—
1. 企業債	725,300	54.1	—	—	—	—
2. 出資金	242,828	18.1	—	—	—	—
3. 負担金等	15,056	1.1	—	—	—	—
4. 補助金	357,665	26.7	—	—	—	—

(支出)

(単位:千円 %)

款・項別	令和2年度		令和元年度		比較増減	対前年度 伸 率
	予算額	構成比	予算額	構成比		
41. 資本の支出	1,622,809	100.0	—	—	—	—
1. 建設改良費	1,089,337	67.1	—	—	—	—
3. 企業債償還金	533,472	32.9	—	—	—	—

地方債の前々年度末における現在高並びに前年度末及び 当該年度末における現在高の見込みに関する調書

(単位 千円)

区 分	前々年度末 現 在 高	前年度末 現 在 高 見 込 額	当該年度中増減見込み		当該年度末 現 在 高 見 込 額
			当該年度中 起債見込額	当該年度元金 償還見込額	
公共下水道債	8,908,256	8,791,150	712,100	454,178	9,049,072
流域下水道債	610,004	547,135	13,200	78,814	481,521
公営企業会計適用債	17,800	48,500	0	480	48,020
合 計	9,536,060	9,386,785	725,300	533,472	9,578,613